

部局名

地域資源創成学部

担当: (教授:熊野稔)

11 住み続けられる
まちづくりを



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



テーマ

道路環境の利便性向上と住み続けられるまちへ
:「道の駅」の高度化と災害支援の調査研究と地域支援

特色ある取組

国土交通省は中越地震、東日本大震災及び熊本地震等これまでの道の駅が災害支援に貢献する経緯から道の駅の災害支援、防災拠点化の必要性を認知し、2020年度から防災道の駅認定制度の導入や広域的な防災拠点となる道の駅の選定を始めた。こうした時代背景の中でも、南海トラフ大地震等の大規模災害への事前準備となる具体的な道の駅の災害支援政策ははまだ成されておらず、不十分なままである。そのため、過去に果してきた「道の駅」の災害対応等を調査して防災時の知見を活かして全国の防災拠点化した「道の駅」の調査を行い、新設「道の駅」や現存する「道の駅」と周辺地域も含めて災害時に対応できるための施策や条件、留意点を明らかにするため調査研究を行っている。

■ 【高橋産業経済研究財団の助成研究調査内容】

令和2年度高橋産業経済研究財団 研究助成 2020年4月～2021年9月
「道の駅の高度化と災害支援マニュアルの構築に関する研究」

道の駅の災害支援のガイドラインの作成と災害支援の非常用電源として必要と考えられるソーラーパネル設置の設置効果と導入ガイドライン策定に関する調査研究を行った。また、災害時やさらなる利用者の満足度を得るためには道の駅の利用者によるファンクラブを組織して道の駅のサポート体制を構築していくことが重要である。そのために国の重点モデルとなった道の駅や、道の駅の会員カードを発行している道の駅を調査してファンクラブ的な組織やカードの運営状況を調査して検証評価し政策提言を行い、道の駅の高度化と災害支援マニュアルの報告書を取りまとめた。

■ 【新技術振興渡辺記念会の助成研究調査内容】

令和3年度(下期)科学技術調査研究助成 2021年10月～2022年9月
「南海トラフ大地震時における道の駅の災害支援と防災技術に関する調査研究」

南海トラフ大地震時の被災想定地域の各道の駅の災害支援の方向性とソフト・ハードの防災技術のあり方を明らかにする。方法はハザードマップ等からの条件調査と各県を窓口にしたアンケート・聞き取り調査等による。道の駅活用の大災害時の事前防災計画の政策と防災科学に貢献する。

■ 道の駅リレー防災セミナー支援 2019年～2020年

- ・ 道の駅リレー防災セミナー十日町市
- ・ 道の駅リレー防災セミナー延岡市
延岡道の駅株式会社における道の駅防災イベント
- ・ 道の駅リレー防災セミナー富士宮市

基調講演する熊野稔教授



出典)道21世紀新聞ルートプレス21第55号掲載記事